

図5. 患者プロフィール 初診問診情報

- 問診票の情報は、医事課で事前に入力され、一部この画面にも反映される。
- 医師は、診察時に内容確認し、不足分を補足する。

ID [0000000305] 氏名 [伊藤 - 03]		基本情報①	基本情報②	種別/性別/年齢	居住情報	アレルギー	確定
性別 [男性]	生年月日 [1935/07/01]	年齢 [68] 歳	職業/生業情報	身体的情報	家族構成	幼児情報	その他 [閉じる]
アレルギー							
発症	P あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 年 [] 月 [] 日から						
経過の変化	P 変化なし <input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 増えた [] 月で <input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> 減った [] 月で <input type="checkbox"/>						
既往歴	P 不明 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 過去に罹っていたがやめた(1ヶ月以上経過) <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/>						
飲酒歴	P 不明 <input type="checkbox"/> 飲む <input type="checkbox"/> 飲まない <input type="checkbox"/>						
嗜好(1日あたり数量)	日本酒 [] []	焼酎 [] []	ビール [] []	タバコ [] []	ワイン [] []		

図6. 患者プロフィール 基本情報

- 患者の職業、かかりつけ医、かかりつけ薬局、紹介元、紹介先などの情報を記載する。
- 紹介元情報は地域連携室の方から入ってくる。

ID [0000000305] 氏名 [伊藤 - 03]		基本情報①	基本情報②	種別/性別/年齢	居住情報	アレルギー	確定
性別 [男性]	生年月日 [1935/07/01]	年齢 [68] 歳	職業/生業情報	身体的情報	家族構成	幼児情報	その他 [閉じる]
目的/同意書							
目的 []	同意書 []	同意 []	同意理由/同意表示 []				
所属の医療機関/施設							
医療機関A	医療機関B	医療機関C	医療機関D	医療機関E	医療機関F	医療機関G	医療機関H
職業事項				かかりつけ医			
内容 []				病院/診療科目 [] 医師 []			
職業 []				氏名/フリガナ []			
会社/団体名 []				薬局名 []			
勤務日 []				コメント []			
勤務時間 []				コメント(治療/治療に列挙する薬物) []			
紹介元機関				紹介先機関			
紹介日 []	施設/診療科目 []	紹介元機関 []	紹介元医師 []	紹介日 []	施設/診療科目 []	紹介先機関 []	紹介先医師 []

図7. 初診・入院時ノートの記述

診療記録様式として「初診・入院時ノート」を使用する。
問診票情報は「問診票」欄に表示される。一部は患者プロフィールにも反映される。

- 主訴 → 「主訴」へ
- 現病歴 → 「現病歴」へ
- 家族歴 → 患者プロフィールの「家族構成」
又は「既往歴」へ
- 既往歴 → 「既往歴」へ
- 生活歴 → 患者プロフィールの「基本情報②」「初診問診
情報」へ
又は「既往歴」へ
- 身体所見 → 「現症」へ
- プロブレム → 「プロブレムリスト」へ
プロブレムが複数の場合、プロブレム
毎に「新規カルテ」を用い「プログレス
ノート」を起こす。
- アセスメント → 「アセスメント」へ
- イニシャル・プラン → 「プラン」へ
- オーダ → 「プラン」へ
処方、注射、検体検査は自動的にプランに
入る。それ以外のオーダは、プランに記載
の上、紙伝票を発行する
- 次回予約 → 「再診予約」へ
- 病名 → 「病名」へ
- 他科依頼 → 「コンサルテーションオーダ」へ

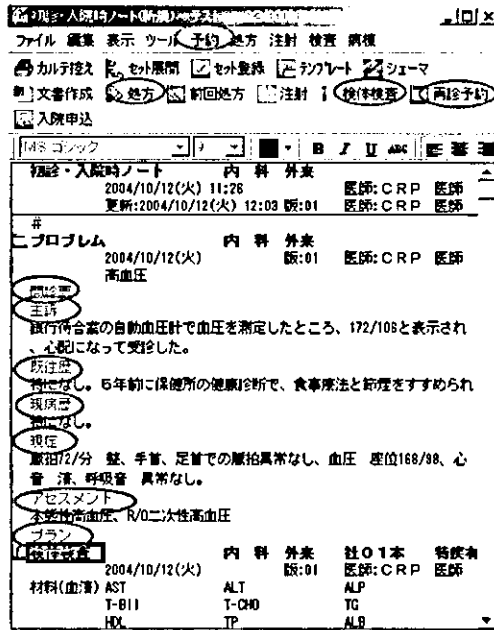
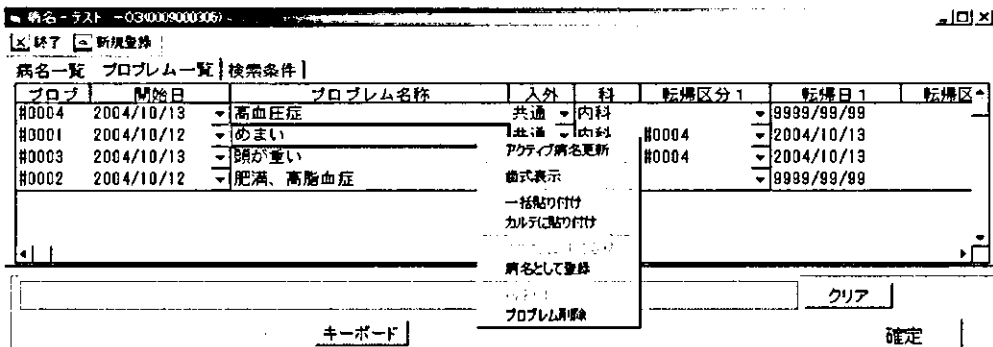


図8. プロブレムリストの作成



- プロブレム番号はシステムにより自動附番される。
- 開始日は、その問題点を取り上げた日付のこと。
- プロブレム名称の欄には、現在取り扱っている問題点を記載する。
- 転帰区分の欄には、既に解決された問題点や、別の問題点に変化したことを記載する。
- 転帰区分にデータが入ると、そのプロブレムはInactiveとして扱われる。
- 問題点が別の問題点に変化した場合は、#0001、#0003のように、新しい問題点を示す番号を記載する。
- 転帰日には、問題点が解決した日付や変化した日付を記載する（転帰区分を入力すると入力日が自動的に入る）。
- プロブレム名称個所での右クリックで出るメニューの「カルテに貼り付け」により、プログレスノートや初診・入院時ノートに貼付できる。

図9. 再診患者の情報入力の基本画面

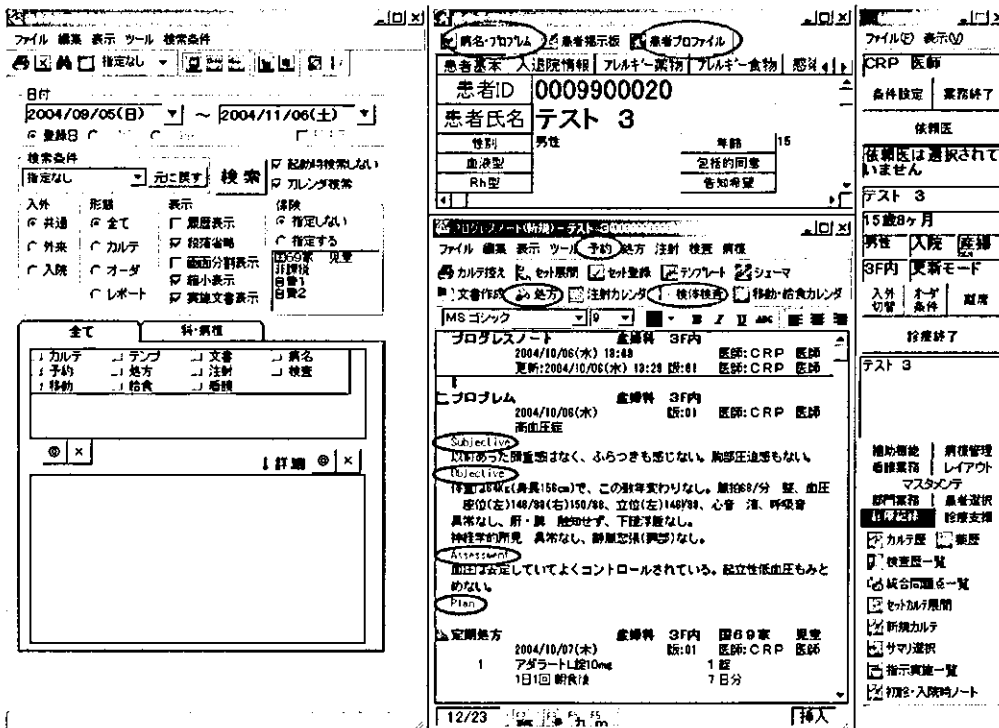


図10. 電子カルテへの入力（再診患者）

診療記録様式として「プログレスノート」を使用する。

- プロブレム → 「プロブレムリスト」へ
プロブレムが複数の場合、プロブレム毎に「新規カルテ」を用い「プログレスノート」を起す。
- 主訴 → 「Subjective」へ
客観的データ・診察所見・検査データ → 「Objective」へ
医師等の意見・診断・データの解釈・予後の見通し → 「Assessment」へ
- 診断計画・治療・患者への教育 → 「Plan」へ
- オーダー → 「Plan」へ
処方、注射、検体検査は自動的にPlanに入る。
それ以外のオーダーは、Planに記載の上、従来どおり紙伝票を発行する。

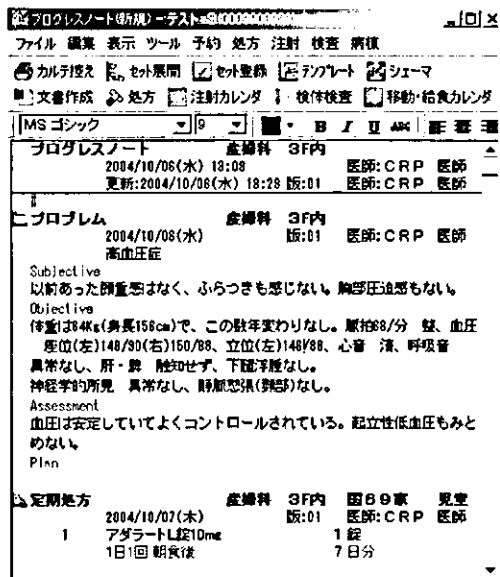


図11. プログレスノートの記述

患者ID 0009000305
患者氏名 テスト -03

性別 男性 **年齢** 69
血液型 包括的同意 **Rh型** 告知希望

主病 高血圧

Subjective 以前あった胸痛もなく、ふらつきもない。
Objective 体重64kgでこの数年変化なし。脈拍81/分 血圧 148/90、心音清。
検査結果 (10/1施行) 尿蛋白 (-)、糖 (-)、ウロビリノゲン 正、潜血 (-)
Assessment 血圧は、よくコントロールされている。稳定性低血圧もなし。長期に降圧薬を服用しているが、副作用の副作用なし。
Plan 外来処方 (内科 外来) 2004/10/12(火) 12:17 診:01 医師:CRP 医師

外来処方 (内科 外来)
 1 ムロチン錠5mg 2錠
 レニベース錠5mg 1錠
 アダラート錠10mg 1錠

15/16 15日目の文書が選択されています

図12. プログレスノートの記述 (複数プロブレム時)

患者ID 0009000305
患者氏名 テスト -03

性別 男性 **年齢** 69
血液型 包括的同意 **Rh型** 告知希望

主病 高血圧

Subjective 以前あった胸痛もなく、ふらつきもない。
Objective 体重64kgでこの数年変化なし。脈拍81/分 血圧 148/90、心音清。
検査結果 (10/1施行) 尿蛋白 (-)、糖 (-)、ウロビリノゲン 正、潜血 (-)
Assessment 血圧は、よくコントロールされている。稳定性低血圧もなし。長期に降圧薬を服用しているが、副作用の副作用なし。
Plan 外来処方 (内科 外来) 2004/10/12(火) 12:17 診:01 医師:CRP 医師

外来処方 (内科 外来)
 1 ムロチン錠5mg 2錠
 レニベース錠5mg 1錠
 アダラート錠10mg 1錠

18/46 18日目の文書が選択されています

図13. 病名の入力

- 病名入力は必須。
- 病名は、他病院への情報提供、診療統計などの目的により、可能な限り標準病名を使用する。
- 標準病名リストに病名がない時は、「キーボード」によりワープロ病名を入力するが、標準病名への対応手順は検討中。
- 標準病名のもは医事システムより移行されている。それ以外の病名は、以前のものが外来基本伝票に載っているため、該当する標準病名に置き直して入力する。
- 治療の終了しているものは、転記理由を確実に入力する。

図14. 外来サマリの入力・参照

- 外来カルテのサマリを、フリーテキストで記載する。

平成16年度厚生科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業
電子カルテシステムにおける標準的診療録の開発研究
総括・分担研究報告書

平成17（2005）年4月発行

発行者：只野 壽太郎

（財）緒方医学化学研究所 常務理事

〒101-0031 東京都千代田区東神田1-11-4 東神田藤井ビル5F

Tel 03-3865-7500

印刷・製本：有限会社トレード